

2013年10月吉日

募金をいただいた皆様へ

みやこ映画生活協同組合
理事長 尾山 健二
(公印省略)

映画館デジタル化支援への御礼

謹啓 秋冷の候、皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年12月からスタートいたしましたシネマリーンドigital化プロジェクトにつきましては、賛同いただきました組合員の皆様、宮古市民の皆様や県内外の個人の皆様、全国の生協様、団体・企業様、などから「沿岸唯一の映画館を無くすな、映画生協を守れ!」と1600万円もの温かい支援が寄せられました。お陰様で1台目として6月にシネマリーン2の方にデジタル映写機が導入でき、先月9月10日には2台目も導入することができました。そして7月には開館以来の入場者が50万人を突破することができました。

皆様からのお気持ち一つ一つ本当にありがたく、感謝の言葉も見つかりません。どうもありがとうございました。

大きなご支援により導入できましたデジタル映写機ですが、震災で大きく落ち込んだ入場者が戻ってくるのはまだ時間がかかり、映画館運営の危機的状況は続いております。映画を観に来てもらえなければ、デジタル化問題をクリアしても映画館を存続させる事はできません。皆様からの支援に報いるためにも、この地域からまた映画館の灯を消さないためにも、このデジタル化と50万人突破をきっかけに、開館した当時の初心に戻り一から再スタートしていきたいと思っております。

併せて今後も被災地域へ映画〈楽しい時間〉を届ける心の支援活動も引き続き行っていきたいと思っています。どうぞ、今後もお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

敬具



シネマラインデジタル化プロジェクト報告

●これまでの取り組み～2012年12月よりプロジェクト立ち上げ

- ・ポスター掲示、シネマライン窓口やDORA店内での定期的なチラシ配布
- ・総代さん便りによるお知らせ
- ・インターネットを通じて全国への発信(組合員さんによる公式サイト立ち上げ、FaceBook、twitter、他)
- ・宮古市内外の事業所への募金箱設置依頼(20箇所)
- ・応援グッズ展開…缶バッジ500円、ステッカー300円(ボランティアさんがデザイン)、ミネラルウォーター【三陸の絆 龍泉洞の水 とともに】(岩手県産業開発・かけあしの会コラボ商品、DVD「あの夏、タイムマシンにのって」2000円(制作委員会より寄付)、本「宮古の映画館物語」1,500円(著者より寄付)
- ・支援フリーマーケット(岩泉町にて組合員さんが実施)
- ・岩手県生協連さんの支援:呼びかけチラシ作成～県内外の生協(連合会)への支援呼びかけ
- ・いわて生協さんの支援:店舗への募金箱設置、店内放送、他



●デジタル化シンポジウム開催

- ・3/9(火)ドラ会議室にて、デジタル化の説明会及び宮古出身で東京で活動しているシネマナビゲーター菅井ゆきえさんを招いて、全国の映画館のデジタル化と、様々な映画館のスタイル、これからの映画館の在り方のシンポジウムを開催。



●募金総額:16,013,283円(9月末最終)

個人(組合員、総代、市民の皆様)、県内外の生協(生協連)、事業所、様々な団体など、宮古市内外から「映画館存続を！」という温かい支援がたくさん届きました。心から感謝申し上げます。

- ・6/13(木)…シネマライン2にデジタル映写機導入済み
- ・9/10(火)…シネマライン1にデジタル映写機導入済み
- ・機材(2スクリーン共):プロジェクターBARCO社製DP2K-10S、サーバーDORAMI社製ShowVault ※現在3D非対応
- ・費用内訳:650万円×2スクリーン=1,300万円
- ・余剰金活用:300万円 映画館利用促進のため全組合員へのお知らせ費用、その他次年度以降の巡回上映会費用、デジタル映写機のランニング費用といたします。※岩手県生協連からの呼びかけで600万円という金額が全国の生協関係から届きました、この呼びかけはデジタル化の他、被災地活動費用や映画館生協存続への運営費用という内容を謳い、支援いただいたものです。

※デジタル化募金は9月10日にて終了しますが、引き続き被災地での巡回上映会のための募金活動に切り替えます。

